

定例第三回町議會招集さる

佐古町弘報

第12号
行場人木長一郎
行人木人川一義
町役人木人川一義
町長人木人川一義
町役人木人川一義
町役人木人川一義

正予算
議案第2号 昭和三十年度
佐呂間町特別会計国民健康保険病院才入才出追加更正予算

議案第四号 議決變更を
すについて (若里火
場)、

案
な
例の一部を改正する条例
制定について
議案文八号 佐呂間町清掃
条例制定について
以上原案通り議決されまし
たが予算追加更正の内容は
次の通りです。

明るい家庭は
貯金から
佐呂間郵便局

予算の内訳		追加更正予算額	既定予算額	比較増減
一、町	税	一九、九四八	一八、七八五	一、一六三
二、地方交付税		一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	○
三、公営企業及財産收入		九九九	九九九	○
四、分担金及負担金	九〇〇	九〇〇	九〇〇	○
五、使用料及手数料	一、九三三	一、七七三	一、六〇	
六、国庫支出金	四、七五一	四、二五四	四九七	
七、道支 出 金	二、三一	二、二八三	二八	
八、寄 附 金	一、二四〇	一、二四〇	○	
九、繰 越 金	二、五七三	一、一三三	一、四四〇	
十、雜 収 入	一、一四〇	九九五	一四五	
十六、町	債	七、五二〇	七、五二〇	三、四三三
才入合計		五六、三一五	五六、八八二	

予算の内訳	追加更正予算額	既定予算額	此較増減
一、議会費	一、一七七	一、二五二	二五
二、役場費	一四、一〇七	一三、五七七	五八〇
三、警察消防費	九一八	九〇八	一〇
四、士木費	四、六六七	四、一〇八	五五九
五、教育費	一一、一三一	一〇、四二七	七〇四
六、社会及労働施設費	六、六四二	五、六五〇	九九二
七、保健衛生費	一、三三三	一、二九三	三〇
八、産業経済費	六、一二〇	五、九九五	一二五
九、財産費	二、一七六	二、一七六	〇
十、統計調査費	一八九	一八九	〇
十一、選舉費	三九一	三八六	五
十二、公債費	五、四六二	五、四六二	〇
十三、諸支出金	一、七二五	一、三三三	四〇三
十四、予備費	二八七	二八七	〇
才出合計	五六、三一五	五六、八八三	三、四三三

活の合理化によつて計画的に
にする心掛が大切と思ひます。貯金は一人でコソコソ
実行するのも妙味がありま
すが旅は道ずれのことわざ
があるようすに婦人会や奥様
方のゲループで貯金團体を
つくつてお互に励まし合つ

昭和二十九年法律第七十
二号以下「法」という)
の規定により町と町民と
が協力のもとに町内の清
潔美觀を保持し町民の生
活環境を衛生的に且つ健
康的にすること目的と
する。

第二条町民は生活環境を衛
生的にすることに努め且
つ他人の生活環境に衛生
上の危害を及ぼしてはな
らない。

第三条この条例で「汚物」
とはごみ、燃えがら、汚
でい、ふん尿及び糞、ね
こ、ねずみ等の死体その
他町長の指定するものを
いう。

第四条法の規定により指定
を受けた特別清掃地区内
の土地建物内の占有者へ
占有者がない場合は管理
者とし以下「清そう義務
者」という)は次の各号
を実行するものとする。

佐呂間町清掃條例設定さる

通説の本筋

一、住宅及びその敷地
常に清潔を保持する
と、土地建物に接続
る路面も又同じである
三、「こみ」は心らず
たゞのごみ箱に入れること
三、「燃えがら」は埋め
て又は埋没等の方法によ
り処理すること。
五条 何人も道路、河川
用水路、公園、広場、堤防、その他公共の用に供
する土地又は水面及び他人の
のせん有する土地に汚物
を捨ててはならない。
六条 町長は公衆衛生上
必要があると認めるとき
は農地その他の土地にし
床を撒布することを禁止
することが出来る。

どうり設定せられた
二、町長が公衆衛生上必要ありと認めるときは、所要の施設をさせることが出来る。
二八条 汚物は町がこれを運搬し処理する。
二、町は団体又は個人に前項の運搬及び処理を代行させることが出来る。
二九条 汚物の收集運搬及び処理を行うことを業としようとする者（以下「お物收集業者」という）は別に定める基準により町長の許可を受けなければならない。
二、前項の規定により許可を受けたお物收集業者は町長の指示監督に従はなければならない。
三、町長の指示に従はないときはいつでも許可を取消すことが出来る。
十九条 町のお物の收集運搬及び処分について次の区分により手数料を徴収する

支那は世帯人頭一人について一点その住居の用に供する建物(附属建物を含む)の総坪数一坪に數に左記一点当たり金額をつき一定とし合算した点乗じて得た額を年額とする

の基準以上のお物（ふん）
によりを除く）を出した
者の処理を委託すること
ができる。

二、左の各号の一に該當
するそぞ除糞者をして
てそのそぞ除した「じ
んかい」をじんかい焼
却業又はじんかい処理
場に搬出することがで
きる。

1、一日平均三十キログ
ラム又は五立方尺以上
の「じんかい」を排出
するもの

2、建物の築造修繕その
他事由によつて一時的
に多量の「じんかい」
を排出するもの。

3、前項の場合にはその都
度受託処理手数料とし
て一立方尺金五円を徵
收する。

十五条 オ十条によるじ
んかいの手数料賦課及び
徵收は次のとおりとする
但しふんによる汲取手
数料はその都度徵收する

十六条　町長は前条の規定にかゝらず前四条に規定する手数料賦課課税の事務を自治会長又は衛生組合長に委任することができる。
十七条　町長において左の各号の一にあてはまる認めめた場合は手数料を免除することができる。
一、貧困であつて手数料を納付する資力のないもの
二、その他特別の事情のあるもの
八条　そう除義務者は町長が手数料賦課のため吏員を置きこの条例に従う必要な調査を拒みめる事項について指導は偽つてはならない。
九条　町長はそう除監査の職務を執行するための理由を告知して必ずする。

意つたとき町長は施行期
間を定めてその履行を戒
告することができる。

2、そう除務者が前項
の戒告を受けてその期
間に履行しないときは
町がこれを執行しそ
の費用はそう除務者が
負担する

第21条 この条例施行
について必要な事項は町
長か別に定める

附 則

1、この条例は公布の日か
ら施行する。

2、じんかい処理について
は本条例の規定にかゝわ
らず当分の間從前のとお
りとする

ついでに御金が増えればそれだけのうちに財政が明るくなるとともに私達の郷土がます。なるほど、方の絶大な御協力を望みます。

一、ふん尿汲取手数料
二、じんかい処理手数料
三、ふん尿汲取手数料

業製造販売業及び会社
(十九名未満の従業員
を涵ふするもの)事業

納期
第一期 五月十日
より 五月三十一日まで

3、前項の史風は別紙様
とができる。

方の絶大な御協力を望みます。人

設定さる

とうり設定せられた

二、町長が公衆衛生上必要ありと認めるときは所要の施設をさせることが出来る。

オ八条 汚物は町がこれを運搬し処理する。

二、町は團体又は個人に前項の運搬及び処理を代行させることが出来

オ九条 汚物の收集運搬及び処理を行うことを業としようとする者（以下「お物收集業者」という）は別に定める基準により町長の許可を受けなければならぬ。

二、前項の規定により許可を受けたお物收集業者は町長の指示監督に従はなければならない

三、町長の指示に従はないとまはいつでも許可を取消すことが出来る

オ十条 町のお物の收集運搬及び処分について次の区分により手数料を徴収する

一、ふん尿汲取手数料
二、じんかい処理手数料
オ十一条 ふん尿汲取手数料は一荷（五ガロン入）二ヶをいう）二十円とする。

オ十二条 じんかい処理手数料は世帯人目一人について一点その世帯の用に供する建物（附属建物を含む）の総坪数一坪につき一点とし合算した点数に左記一点当たり金額を乗じて得た額を年額とする

一点当り 金七円

オ十三条 左の業務を営む者又は会社、工場、団体等のじんかい処理手数料は常住員、常務人員及び建物につき前条の世帯に準じて点数及び額を算出し次の割合に乗じて得た額を年額とする。

一、デパート、映画劇場、生花販売、農業協同組合、陶磁器、青果物、鮮魚介販売、各種市場等の業務を営む者。

二、旅館、飲食店、パizzeria店、印刷業、病院、運送業、各種官公衛團体会社（二十人以上の從業員を雇用するもの）

三、前二項に掲げる以外の物品販売業及び倉庫

(十九名未満の従業員を雇用するもの)事業所、医院、診療所、
二十四条 町はその義務に属しないお物(ふんにようを除く)を運搬及び左
の基準以上のお物(ふんにようを除く)を出した者の処理を委託すること
ができる。

二、左の各号の一に該当するそぞ除糞務者をしてそのそぞ除した「じん
かい」をじんかい焼却炉又はじんかい処理場に搬出することがで
きる。

1、一日平均三十キログラム又は五立方尺以上
の「じんかい」を排出するもの。

2、建物の築造修繕その他事由によつて一時的に多量の「じんかい」
を排出するもの。

3、前項の場合はその都度委託処理手数料として一立方尺金五円を徴
収する。

十五条 オ十条によるじんかいの手数料賦課及び徴収は次のとおりとする
但しふんによる汲取手数料はその都度徴収する

納期　第一期　五月十日　より　五月三十一日まで
第二期　十月十四日　より　十月三十一日まで。
2、各期の納付額は年額の均等割とする。
但しその納付額に十円未満の端数があるときはこれを第一期に徵収する。
十六条　町長は前条の規定に従ふ。わらず前四条に規定する手数料賦課徵收の事務を自治会長又は衛生組合長に委任することができる。
十七条　町長において左の各号の一にあてはまる認められた場合は手数料を免除することができる。
八条　そう除義務者は町長が手数料賦課のため行う必要な調査を拒みを納付する資力のないもの、その他特別の事情のあるものである。
九条　町長はそう除監吏員を置きこの条例に定める事項について指導を仰させるものとする。
そうじ監視吏員はその職務を執行するための理由を告知して必

3、前項の史員は別紙様式の身分証明書を携行し必要なとき提示するものとする。
オ二十条 そうじ義務者がこの条例に定める義務を怠つたとき町長は履行期間を定めてその履行を戒告することができる。
カ、そう除務者が前項の戒告を受けてその期間に履行しないときは町がこれを執行しその費用はそう除義務者が負担する。
二二一条 この条例施行について必要な事項は町長が別に定める
、この条例は公布の日から施行する。
、じんかい処理については本条例の規定にかゝわらず当分の間從前のとおりとする

ります。従いまして本町に於ても将来蔬菜を出荷される場合を考慮して考えるべきかと思います。又蔬菜は特に形の揃い緊り、肌の色抜、病害の附着等充分注意しなければ価値を極端に低下させるものであります。この点本日の出品はまだまだ未熟の点ばかりでありますので充分の研究を望みたいたい訳であります。

最後に品評会を実施する上に於て特に望みたい事は出品規定にあります出品数量の厳守であります。量目が不足のものは審査の対象にならないのが原則であります。して将来町ばかりでなく文

十月中行事表

あとがき

	農業委員会 主 席 佐呂間町
十一月三日	御承知の様に 文化の日 如何なる僻地に於いても菊 いちなんだ行事が為されて ある誠に喜ばしいことであ る
敗戦後日本の行事はまこと に苦労に困難のいがら道 を辿つて來たのであつたが その後民主的にして文化的 なよりよき國家の建設に邁 進せねばならない主旨のも とに設定されたのであつた 佐呂間町においても本町の ため教育に産業に自治にま でとくに功労のあつた方々 並に孝子節婦等の表彰をな し他に類のない理想郷の建 設を計りたい主旨のもとに	<p>十一月三日は御承知の様に文化の日である全国至る処如何なる僻地に於いても菊いちなんだ行事が為されてある誠に喜ばしいことである</p> <p>敗戦後日本の行事はまことに苦労に困難のいがら道を辿つて來たのであつたがその後民主的にして文化的なよりよき国家の建設に邁進せねばならない主旨のもとに設定されたのであつた佐呂間町においても本町のため教育に産業に自治にまでとくに功労のあつた方々並に孝子節婦等の表彰をなし他に類のない理想郷の建設を計りたい主旨のもとに</p>
十一月三日	御承知の様に 文化の日 如何なる僻地に於いても菊 いちなんだ行事が為されて ある誠に喜ばしいことであ る
十一月三日	<p>十一月三日は御承知の様に文化の日である全国至る処如何なる僻地に於いても菊いちなんだ行事が為されてある誠に喜ばしいことである</p> <p>敗戦後日本の行事はまことに苦労に困難のいがら道を辿つて來たのであつたがその後民主的にして文化的なよりよき国家の建設に邁進せねばならない主旨のもとに設定されたのであつた佐呂間町においても本町のため教育に産業に自治にまでとくに功労のあつた方々並に孝子節婦等の表彰をなし他に類のない理想郷の建設を計りたい主旨のもとに</p>

言が愛する同胞が互にものではないかと思はれます
とく、責任と正義感に燃え
て人のため世のためにもつ
とく、仇く諒になれば必ず
や理想郷の建設は間違なし
であります。
△来る八日から十四日まで
の一週間全道的に精神衛
生週間に実施されること
になつております怒る心
は病気のはじまりだなど
といはれていますがいつ
も明るい心で人のため世
のためになるなら自分は
どんな苦労をしても全力
を投げだすという良いか
んきようの中での生活が
出来る様に努めませう少
しでも一寸でもおかしい
と思われるときは恥しか
らすすぐに医者に相談す
る事が大切です診療さえ
早ければ大抵の精神病は
療すことが出来ますから
△十月も去りやがて白雪に
とざされる日も遠くない
でせう秋の收穫物の取入
は何如ですか冬の仕度は
出来ましたか何かと御多
めませう。身体に充分気
力を致しまして微笑の内に
たのしい家庭の建設に努
き様注意しませう